

(様式1)

自己評価票

作成日 平成22年9月25日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900542		
法人名	医療法人 正信会		
事業所名	グループホームさくら	ユニット名	西棟
所在地	〒 315-0122 茨城県石岡市東成井2219-8		
自己評価作成日	平成 22年 9月 20日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

御家族の面会時や行事などの機会を見つけては理力や協力を求め、御家族とホーム間の信頼関係を深めることに力を入れている。また家庭的な所（家に居ると同じ）を大切にし、常に現状維持できるように健康管理を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目立つ所にさくらの理念を掲げ、常に三ヶ条を心に刻み、「私たちのしあわせ」「私たちの望み」「明るい笑顔」になるようにスタッフ各自が努力し、実践している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一年間の行事（納涼祭のお誘い、消防訓練の協力のお願ひ）など地域に声掛けや通知などで参加依頼しているが地域の一員としての交流、活動には至っていない。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々に認知症の人の理解や支援の方法に向けた活動には至っていないが、まずはスタッフ全員が講習会に参加し、認知症ケアを理解した上で地域の方への講習会を開く事を検討したい。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年6回を計画、実施しておりその都度事業所報告、意見交換などおこなっている。外部からの意見はサービス向上の為に各棟または統括責任者に報告し、活かせるように努力している。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村に対しては、運営推進会議で介護保険課の職員、包括支援センターは入所に対しての意見交換や相談など行いながら、協力関係を築いている。また市役所には入所のお願ひにパンフレットを持参し訪れている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケア、身体拘束がもたらす弊害、「緊急やむを得ない」場合に行う身体拘束について、スタッフが再度研修を行い、スタッフ全員で厳密に検討している。「緊急やむを得ない」身体拘束を行う場合は家族との話し合いを設け同意書を頂くようにしている。現時点では身体拘束をしている利用者はいない。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルに基づき、常にスタッフは心に刻みながら利用者の人権および尊厳を守る為に介護に力を入れている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	ミーティングなどで権利擁護や成年後見人制度について研修を行っている。家族には入所時に契約書を説明する際に利用者及び利用者代理人の権利の時一緒に説明させて頂いている。ただし今のところ支援の依頼までには至っていない。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は管理者が家族に契約書を十分に説明し、家族からの希望、意見または質問等を良く聞いた上で、契約を交わすように心掛けている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族の方が面会に来た際は、スタッフが現在の利用者の様子を説明し、また御家族の方の要望を聞くように努めている。スタッフに直接伝えられない場合は玄関前の意見箱に投書して頂くように呼び掛けたり、外部である第三者機関の苦情窓口がある事をさくら便りで知らせたりしている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティング時にスタッフ間で意見交換を行っている。また管理者は個人的に問題を抱えたスタッフに関しては個別に意見、相談を聞くようにしている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況に関しては無理のない勤務体制を取っている。またやりがいがある環境を与える事で、スタッフが向上心を持って努められ今までの勤務継続に繋がっていると思われる。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来る限り研修には参加出来るように配慮している。またホーム内でも研修を行うように心掛けている。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同法人である14ヶ所のグループホームとの交流は常に行っているが、他法人との交流は見学などでネットワークづくりや勉強会までには至っていない。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に御家族、本人から十分な聞き取りを行う事で不安なく生活できるように支援している。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホームに慣れるまで御家族の方が安心と思えるまで何回、毎日でも面会に来て頂き、心配な事があれば些細な事でも話を聞くように努め、話し合い易い雰囲気づくりに努めている	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期の段階で本人、御家族としっかりと話し合う事で何が一番大切かを見極め、不安なく生活できるように支援している。また本人や御家族の方が他のサービス利用を希望された場合も支援するように心掛けている。	
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一日3回の食事を同じ食卓を囲み一日の半分以上を一緒に過ごす事で、その様子からお互いの気持ちも理解でき、喜んだり、悲しんだりできる関係が築けるように努めている。	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の思いも十分に理解し、家に居る時と同じように家族関係が継続出来るよう本人と御家族を支える支援をしている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームでの生活が長くなると以前のような馴染みの人も少なくなって来ているが御家族から久しぶりに聞く昔馴染みの方などの話を一緒に聞く事で昔を懐かしみ、共感している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室やテーブルの席をその人同志の関係に合わせ配慮している。常に会話にスタッフも入り仲良く、楽しく、過ごせるように又利用者同士の関係がより良い関係が築ける様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も御家族の方からお電話やお手紙を頂いたりして、入所中の利用者の方のお話をしながら、懐かしみながら思い出話をし、御家族との信頼関係は継続している。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常会話や毎日の生活の中で一人ひとりの思いや希望を把握できるように注意を払い、気が付いた事はシートに書きとめるように、スタッフ全員で行っている。そのシートを基にスタッフ間で話し合い意見を出し合い検討している。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その人なりの生活歴を日々の生活の中から探るように努めている。馴れ親しんできた事をここでの生活の中に少しでも取り入れてあげられるように支援している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の様子、出来事を一人ひとりの記録を記することで、心身の状態、現在の状況など分かりやすいようにしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	気づいた事はひとりで抱え込まずに、すぐにスタッフ間で話し合い意見交換をしている。その後ケアマネージャーと管理者を含みカンファレンスを行い、スタッフ間で話し合ったことの意味やアイデアを報告し検討しながら介護計画に反映している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子の変化をなるべく細かく記載する事で介護の方向性を掴むことに生かしたり、実践の介護に生かしながら介護計画の見直しに活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現状をよく見極めみんなで話し合い検討し、現状での対応が難しいと判断した場合は母体である医療機関や御家族と相談の上他のサービス変更への対応も支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年間行事の中で地域のボランティアの方が来訪したり、地域の方が介護ボランティアに来て頂いたりしている。また年2回の消防訓練時は消防署職員に来て頂き安全指導のもと安心して暮らせるように支援してくれている
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にかかりつけ医院については、利用者御家族と話し合いのもと決定している。ただしほとんどの利用者の方が母体である病院で24時間体制で適切な医療を受けている。他病院での受診を希望される場合は御家族の協力をお願いしている。どうしても御家族が連れて受けない場合はスタッフが対応する。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の健康状態や身体変化、異常時は常に母体である病院の看護師に指示を仰げるような関係作りを行っている。また一週間に1度看護師が訪問した際に利用者の状態を報告している。ケアマネージャーも看護師なので安心したケアが受けられる。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者は常に病院との連携を図っている為より良い関係作りが出来ている。入院した際、安心して治療が受けられるように情報交換は密に行っており、入院時の状態も常に把握し出来るだけ早期に退院できるように努めている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	母体が病院の為看取りは行っていないが御家族からの終末期は出来るだけホームで過ごさせてほしいとの意見も多い為、さくらでは担当医と連携を図りながら出来るだけのケアに取り組んでいる。それには御家族と話し合い意見希望を確認した上で文章にて同意書を頂いている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時は慌てずに対応出来るようにまたマニュアルをもとに指導している。すべてのスタッフが応急手当や初期対応が出来るように、常日頃から心掛けている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を消防職員の方と共にを行い終了後は評価を頂いて次回の訓練に役立てるように努めている。また消防訓練時は近隣の方の家を訪問しチラシを配り参加を呼び掛けている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	
			実施状況	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの生活を理解し、自尊心を傷つけることのないように、プライバシーを守りながら毎日の生活に対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その日その都度変化している利用者の表情や行動などから、思いや希望をくみ取り思いに合った声かけや対応をするようにしている。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まった一日の生活の流れの中で、ちょっとした会話や出来事の中で利用者の思いを感じ取り楽しく生活できるように支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常生活や外出時などその方の個性や希望、季節感を楽しめる様な洋服選びを利用者の方と一緒にしている。髪型に関しても本人の希望を伝えて散髪して頂いている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	スタッフは利用者の方と一緒に食卓を囲み、ゆっくりとBGMを聞きながら食事をしている。嫌いな物に関しては別の物に変えるなどの対応を行い、食べ残しや栄養バランスの偏りがないように気を配っている。食事の後片づけもテーブル拭き、トレー拭きと役割分担して行って頂いている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは栄養士の管理のもと調理している。水分量、食事摂取量は一日の量を表に現し見やすく分かりやすいように表示している。人によっては水分量の基本量より少ない方は居室にペットボトルを用意し、お茶を入れて水分量が確保できるように対応している	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後義歯を外してのうがいを行っている。特に夕食後は歯磨きをし、入れ歯は入れ歯洗浄剤に入れて、翌朝までお預かりする。毎日の口腔ケアにより一人ひとりの口腔内をしっかりと観察する事で口腔内の異常に早めに気づき対応する事が出来る。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンを把握し声かけや時間によるトイレ誘導をしている。少しの失禁は心配しないように配慮し、紙パンツから布パンツに慣れるような支援も行っている
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を利用し毎日排便があるか便秘はしていないか確認している。排便がない方には館内散歩や腹部マッサージを行うなどその都度対応している。おやつには繊維のある果物など取り入れるようにしている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	3棟が日にちを変えて入浴日にしている為、毎日どこかで入浴日になっており、入りたい方は自由に入浴する事が出来る。入浴中は一緒に歌を唄ったりしてゆっくりとした時間を過ごしている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日の生活の中に睡眠の時間も確保し、人によっては休みたい時間に休めるように支援している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各自の服用している薬に関しては全スタッフが把握している。服薬も自分で出来る方以外はスタッフが介助にて服薬し、確実に飲んだ事を確認している。副作用や効果については血圧測定や排便確認などの様子の変化など常に気を付けて対応している。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来る能力に合わせて役割を決め、お手伝いをして頂いている。また御家族からの差し入れなどを居室で食べたり、趣味に生かしたりと楽しんでもらうことにより気分転換を図って頂いている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	御家族と外出、外泊できる方は自由に出かけられるように支援している。また散歩が可能な方は近くの公共施設に舞踊を観に出かけるなど機会があれば地域にも出かける支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>小銭を持っている方は自動販売機で好みのジュースなど購入している。それ以外の物に関しては希望の物があればこちらで購入するように支援している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>館内の公衆電話や希望があればホーム内の電話を利用してお話しできるように支援している。また御家族や知人の方からの電話も取り次ぎ本人と直接お話しして頂くよう支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各棟への廊下には行事ごとの集合写真があり、散歩時に眺めたりその時の季節ごとの行事を思い出したりしている。また長い廊下な為休憩できるようにソファが置いてあり、本棚にある本を読書したりと、ゆったりと過ごせる憩いの場となっている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>各棟に繋がる廊下は風通しもよく、夏は涼しく冬は日当たりが良い。ゆっくりと過ごしたい方が寛いでいる姿も見受けられる。時には他棟の方との交流の場としての共同空間となっている。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個室の為本人の好みに合わせ好きな物を持ち込み自分の好みに合った居室となっている。また御家族や仲の良い利用者ともゆっくりとお話ができ、楽しく過ごせるように支援している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は安全で過ごしやすい環境を整え、常に危険物がないか気を付けている。居室の場所、トイレ、お風呂場など分かりやすいようにまた間違えないように目印を付けるなどの工夫をしている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない